

令和2年度6月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 令和2年6月5日（金）午前11時00分～11時25分

場所 市役所2階 第1委員会室

出席 市政記者クラブ9社

会見内容

1. はじめに（1項目）

- 5月25日に、国の緊急事態宣言が解除となり、北海道においても、新型コロナウイルス感染予防対策として行っていた休業要請が、6月1日に全て解除されました。
- 改めて、この間、ご協力をいただきました、お一人おひとりに、心より感謝を申し上げます。
- あわせて、救える命をしっかりと救っていくという医療現場で、ご尽力をいただいております医師会、そして釧路保健所の皆様、多くの医療関係者の皆様にも感謝するとともに、特に重症化が懸念されておりました高齢者施設や介護施設等で勤務されている皆様方におかれましても、日々、大変緊張感ある中でお勤めされておりますことに、心から感謝申し上げます。
- このたびの北海道の休業要請の解除を受けて、釧路市においても、閉鎖をしていた一部の市有施設が、6月1日から段階的にオープンしており、あわせて、臨時休業を実施していた市内の小・中・高等学校についても、1日から登校を再開したところであります。
- 今後は、感染予防として国が示している「新しい生活様式」を踏まえながら、経済、地域を回していかなくてはなりません。
- 釧路管内においては、先月5月17日にお1人の感染者がおりましたが、それ以降、感染者はいない状況となっております。
- しかしながら、新型コロナウイルスは無くなった訳ではありませんので、ここを意識していきながら、社会活動、経済活動を両立させていくということが必要であると考えております。
- 釧路市といたしましては、今後の経済活動を取り戻すために、本当に多くの方の力をいただきたいということで、プレミアム付商品券の発行等、様々な事業の取り組みを行っていきます。
- 感染予防対策を行いながら、経済活動を再開するということは、相反することではありますが、正確な情報をしっかりと伝えていきながら取り組んでいきたいと考えております。

2. 話題提供（3項目）

1. 釧路市プレミアム付商品券の概要について

- はじめに、釧路市プレミアム付商品券の概要についてです。
- 釧路市プレミアム付商品券は、新型コロナウイルス感染症の流行により、地元企業の経営に大きな影響が出ていることを受け、市民の皆様にも地域における消費意欲を喚起するとともに、地元企業を支え、応援することを通じて、地域経済および商業の活性化を図ることを目的に発行いたします。
- 本事業は、6月2日に設立いたしました釧路商工会議所、阿寒町商工会、音別町商工会、釧路市商店街振興組合連合会の4者で構成する「釧路市プレミアム付商品券事業実行委員会」が事業実施主体となり、市は補助金を交付して実施いたします。
- 商品券は、「飲食店専用」と「物販等専用」2種類をそれぞれ5万冊、合計10万冊作成いたします。
「飲食店専用」は1冊5,000円で、7,000円分の商品券を購入することができます、40%のプレミアムが付いております。
「物販等専用」は1冊10,000円で、12,000円分の商品券を購入することができます、20%のプレミアムが付いております。
購入限度は、1人につき、「飲食店専用」が10冊、「物販等専用」が3冊までとしております。
- 今後のスケジュールといたしましては、本実行委員会において、参加店の募集を6月中旬から開始し、商品券の予約申込受付は6月下旬からを予定しております。
- 商品券の使用期間は、商品券の引き換え開始日として、7月中旬を予定しており、それから12月31日までとして、準備が進められているところであります。
なお、商品券やチラシなど準備ができしだい、前倒しで行いたいと伺っております。
- このプレミアム付商品券は、それぞれのご家庭のバックアップにも繋がるものであり、あわせて、地元企業を応援するということでもありますので、ぜひ、市民の皆様には積極的にご利用いただければと考えております。

2. 令和2年国勢調査の実施について

- 続いて、令和2年国勢調査の実施についてです。
- 本年10月1日を調査期日として、国勢調査が実施されます。
- 1920年（大正9年）に第1回の調査が行われて以来、5年ごとに実施され、今回はその21回目に当たり、実施100年の節目を迎えます。

- 今回の国勢調査では、前回と同様、紙の調査票による回答に加えて、インターネットでの回答が可能となっております。
- このたびの調査より、インターネット回答方式におきましては、多言語化や音声読み上げ機能が導入されており、従来、インターネットでの回答が困難であった外国人や視覚障がい者の方をサポートする仕組みが構築されているなど、これまで以上にインターネット回答が推進されております。
- あらためて、国勢調査は、世帯構成や就業状態など、詳細な人口データが得られる大変重要なもので、これを基盤に様々な施策が行われることとなります。
- 釧路市におきましても、本調査の重要性を踏まえ、正確かつ円滑な実施に向けて、去る5月27日に名塚副市長を本部長とする実施本部を設置し、全庁一丸となって、取り組みを進めているところです。
- さらに、新型コロナウイルスの影響により、経済的に困窮した学生を支援するため、調査事務に従事する調査員や会計年度任用職員として、採用してまいります。
- 今後の調査の実施に当たりましては、市民の皆様のご理解をいただきながら、進めてまいりますので、ご協力をお願い申し上げます。

3. 子育て世代包括支援センター事業について

- 続いて、子育て世代包括支援センター事業についてです。
- 今年の6月から新たに始まりました本事業は、健康推進課および子ども育成課の子育て支援拠点センター両者が連携を強化し、一体となって妊娠期から子育て期までの相談を行う総合窓口として、切れ目のない支援を行うことを重視した事業となっております。
- 具体的には、健康推進課において、保健師で専門のコーディネーターを配置し、妊娠届出時の面接の充実を図り、妊娠期から個別のニーズを把握した上で、状況に応じた支援プランを作成し、必要な支援に繋げていきます。
- あわせて、健康推進課および子育て支援拠点センターが協働で乳児健診や育児相談を実施し、相互に情報共有を行い、必要な方に育児支援を行っていきます。
- また、保健師や保育士等が、定期的に市役所防災庁舎4階の健康推進課および3カ所の子育て支援拠点センター（東部・西部・中部）計4カ所を巡回し、出張相談支援を行います。
利用を希望される方は、最寄りの施設で、様々な内容の相談をすることができます。
- 今回、新たに配置するコーディネーターを通して、関係機関の連携も強化していくことで、より切れ目のない支援を行ってまいりますので、妊娠、子育てにつきまして、お気軽にご相談いただきたいと思います。

3. 質疑要旨

(質問)

- ・ 子育て世代包括支援センター事業について、6月からのタイミングで始まることについては、何か意図があったのでしょうか。年度始めの4月から実施しようとしていた事業が、新型コロナウイルスの関係で、開始が後ろにずれた形となるのでしょうか。

(保健相談主幹)

- ・ 元々、6月から開始する予定で、4、5月で準備を行い、6月から事業を開始した状況です。

(質問)

- ・ 子育て世代包括支援センター事業について、専門のコーディネーターというのは、具体的にどのような仕事をどのような立場の方が行うのか、詳しく教えてください。

(市長)

- ・ 専門のコーディネーターは、保健師の方になります。

(保健相談主幹)

- ・ 市民が相談しやすい窓口として、専門のコーディネーターを置く形になっております。初回の相談窓口としてコーディネーターが相談をお受けし、必要に応じ、地区分担も行っておりますので、そちらに繋げていく形をとっております。他に、妊婦相談の最初の支援窓口を強化するために、そこで活躍する予定です。

(質問)

- ・ プレミアム付商品券について、市の補助金額を確認させていただきたい。

(産業振興部次長)

- ・ 補助金額は、2億4,815万5千円です。現在、臨時交付金で措置されるよう実施計画を出している状況です。

(質問)

- ・ 前回、プレミアム付商品券の販売を市内で実施した際に、かなりの人数の市民が商品券を求めて並んだ等、色々と課題が出ていたと思いますが、販売方法等について、何か対策等のお話は出ていますでしょうか。

(産業振興部次長)

- ・ このようなコロナ禍にありますので、しっかりと3密を避けるような状況を作らなければならないということで、一人当たりの購入冊数について、予約の段階で上限を設けさせていただき、予約の段階から購入できる人数を把握する対応を取らせていただきます。

また、商品券を購入していただく際にも、購入する場所の設定を多めに考えており、実行委員会の組織メンバーはもちろん、市内の大きな小売店の皆さんにもご協力いただいて販売する形を考えております。まずは、ご予約をいただき、予約引換券を実行委員会から送る形を考えておりますので、販売場所にて並ばず、また密にならずに商品券を引き換えて購入いただけるよう、現在、考えております。

(質問)

- ・ 商品券の予約をして、引き換え券が届き、それを市内の取り扱っている場所等で交換するというのでしょうか。

(産業振興部次長)

- ・ はい、そこで、プレミアム付商品券をご購入いただく形となっております。

(市長)

- ・ プレミアム付商品券の予約は、6月下旬から開始を予定しております。

(質問)

- ・ 国勢調査について、今回の調査では、一般市民の調査員を公募していると思いますが、調査員の確保状況はどのようになっておりますでしょうか。

(国勢調査主幹)

- ・ 市ホームページ、広報くしろを通じて応募いただいた方につきましては、現段階で84名となっております。この他に、本市の登録調査員、また、現在、市役所の各部署に依頼している段階で、現時点で530人程の応募をいただいております。予定の半分程度が集まっているところです。今後、さらに市役所各部から残り半分の方の応募をいただく予定となっております。

(質問)

- ・ 「ごちそうタクシー便」について、6月末まで延長することが決まっておりますが、利用数と現状予定している補助金の上限を考えた時に、6月末以降の延長も考えていらっしゃるのでしょうか。

(市長)

- ・ 「ごちそうタクシー便」につきましては、飲食店の皆様とタクシー業界も含めて大変な状況の中、国において道路運送法に基づく特例措置としてタクシーによる有償の貨物運送が認められたことから、まずは少しでも、これらの収益を上げていただこうとスタートしたもので、緊急事態宣言が解除される5月末までという形で取り組んできました。6月末まで当該事業を延長したことについても、緊急事態宣言が解除となったものの、未だ段階的な取り組みを行っている状況から決めさせていただいたものです。7月からは、様々なことを従来どおりに戻しながら進めていくこととなりますので、6月末までの事業にする形で考えております。

(産業振興部次長)

- ・ 5月24日現在で、2,621件のご利用をいただいております。市の補助は1件につき1,000円となっておりますので、262万1千円の市の補助が行われております。